



Challenge, Speed, Innovation

第123期 報告書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

DiD 大同工業株式会社

四輪車用

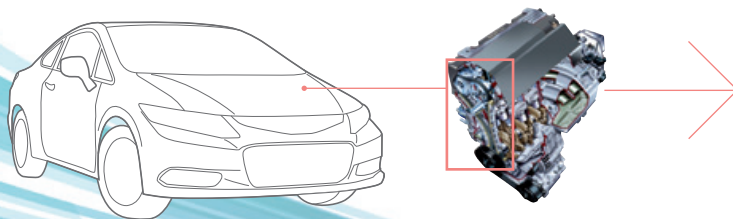
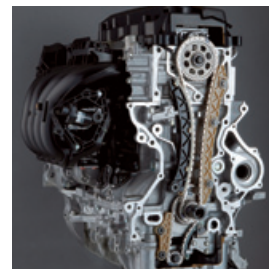
当社独自の特殊表面処理技術で、優れた耐摩耗性・疲れ強さ・高い静音性を実現した四輪車エンジン内チェーン。

[主な納入先] HONDA、TOYOTA、DAIHATSU、MAZDA、SUBARU、SUZUKI、HYUNDAI、第一汽車

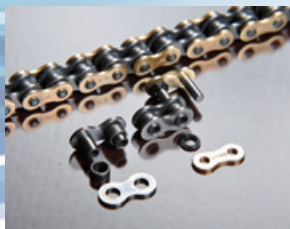
■ タイミングチェーン



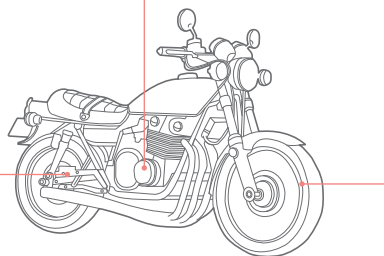
■ チェーンシステム



■ ドライブチェーン



■ カムチェーン



D.I.D

モノづくりへの情熱で世界

■ 鉄リム



■ アルミリム



二輪車用

[D.I.D] ブランドの高い信頼性と実績により、世界No.1の評価をいただく二輪車用チェーンは、多くの完成車メーカーに純正品として採用いただいております。

[主な納入先] HONDA、YAMAHA、SUZUKI、KAWASAKI、BMW、DUCATI、HARLEY-DAVIDSON

高度化・多様化するニーズに、コンサルテーション能力と開発力、固有技術で、お客様の環境に合わせたソリューションを提供しています。

動力伝動・搬送用チェーン



[主な使用用途]

- ・立体駐車場
- ・フォークリフト
- ・建設機械・農業機械
- ・食品加工機械
- ・印刷機械・包装機械

産業機械用チェーン (静音チェーン)

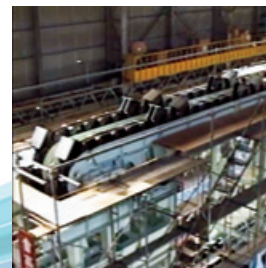


コンベヤシステム

■ 粉粒体・環境関連設備向け エプロンバケットコンベヤ



■ 製鉄関連設備向け コイルコンベヤ



事業領域

に感動をお届けするヒューマンテクノロジー

私たちは創業以来、「伝える」「運ぶ」をテーマに、世界のニーズを満たす技術の徹底追求を行い、高性能、高品質な製品をお届けしてきました。

その根底には、人にふれあう技術、人とともに伸びる技術という思想が貫かれています。

ものづくりは人づくり、そして情熱。私たち大同工業グループは、絶えず人と技術を原点に置き、ひたむきに「D.I.D」ブランドへの期待と信頼にお応えしています。

■ いす式階段昇降機 (楽ちん号)



■ 車いす用階段昇降機 (JDエスカル)



福祉機器

豊かで快適な福祉社会を実現するため、使う人の立場に立ったユニバーサルデザインに基づく福祉機器の開発を通じて、バリアフリー社会に貢献しています。



ごあいさつ

平素は格別のご高配を賜りありがたく厚くお礼申し上げます。

第123期事業年度（平成27年4月1日から平成28年3月31日まで）の営業が終了いたしましたので、報告書をお届けし、ご報告申し上げます。

平成28年6月

代表取締役社長 新家 康三

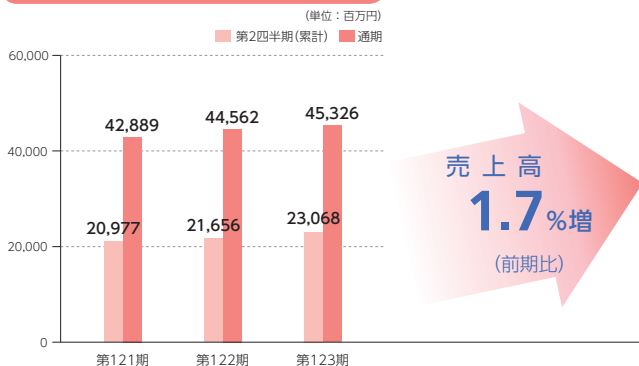
事業の経過及び成果

当期における当社グループを取り巻く環境は、海外においては、米国経済の改善基調が続いたものの、中国経済の成長ペースが鈍化し、アジアや南米等の他の新興国でも資源安・通貨安の影響を受け成長が鈍化したこと等により、先行き不透明な状況が続きました。国内においては、年明け以降急速に円高が進んだものの、期間全体としては企業

収益の回復や雇用・所得環境の改善傾向により景気は緩やかに回復しました。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、アセアン、欧州を中心に二輪車用チェーンの補修市場向けの受注が好調に推移し、また、北米では、四輪車メーカーの現調化により受注が大きく増加しました。

売上高



営業利益



その結果、当期の連結売上高は453億26百万円（前期比1.7%増）、連結営業利益は28億35百万円（前期比33.4%増）、連結経常利益は23億25百万円（前期比9.8%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は13億16百万円（前期比37.0%増）となりました。

対処すべき課題

今後の見通しにつきましては、米国の金融政策が正常化に向かう中、中国を始めとした新興国の景気が下振れし、日本や欧州等先進国の景気も下押しされるリスクが懸念され

るなど、引き続き予断を許さない状況が続くと予想されます。

このような状況のもと、『たゆまぬ挑戦で未来を切り拓く』をスローガンとする第10次中期経営計画（2015～2017年）の2年目を迎え、ものづくり企業としての原点に立ち返り、事業領域・技術領域の拡大を図るとともに、アジア二輪市場や北米四輪市場など成長市場・成長分野の取り組みを行ってまいります。また、多様な人財の活用と次世代を担う人財を育成することにより、常に発展しつづける企業体質づくりを進めてまいります。

株主の皆様におかれましては、より一層のご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

第124期(平成29年3月期)連結業績予想

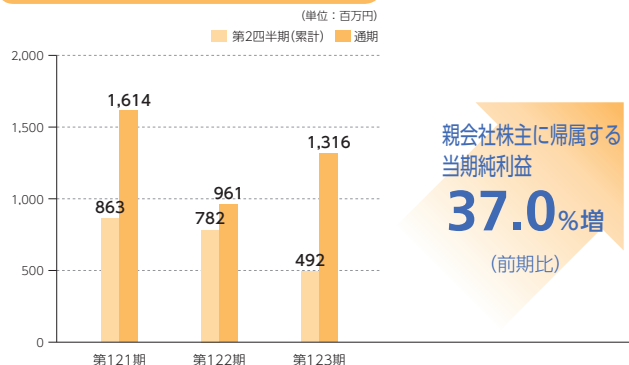
(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
第2四半期（累計）	21,900	1,000	1,100	600
通期	44,200	2,300	2,500	1,500

経常利益



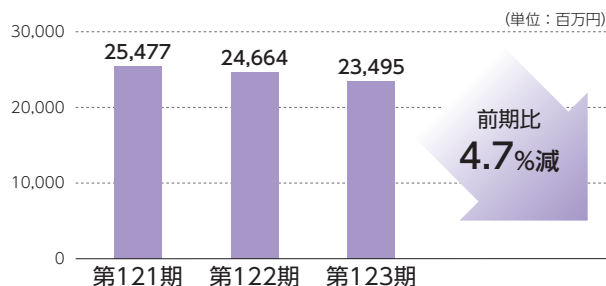
親会社株主に帰属する当期純利益



所在地別セグメント（当社及び連結子会社の属する国または地域を基準としたもの）

● 日 本

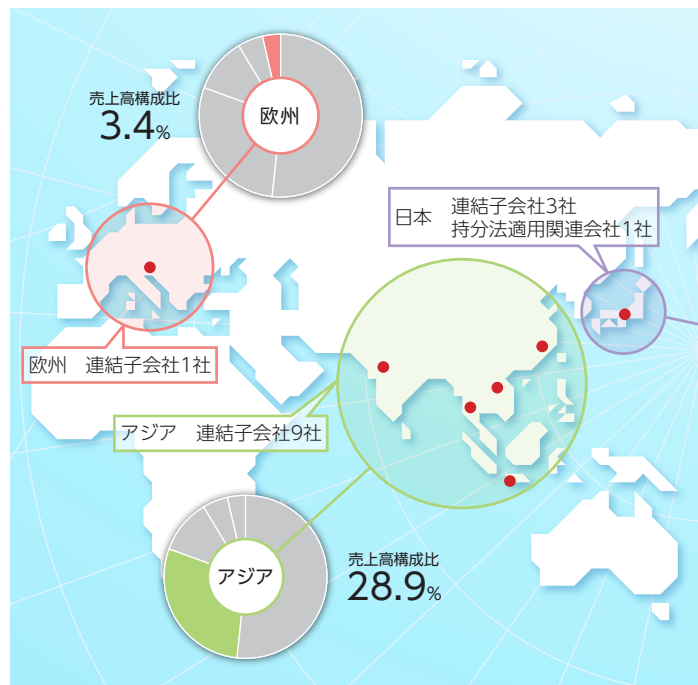
二輪車用チェーンにおいて、為替の円安背景と欧州、北米市場の景気回復で国内完成車メーカーの生産が増加したことによる受注増加に加え、欧米を中心とした補修市場向けの受注が好調に推移したものの、四輪車用チェーンにおいて完成車メーカーの海外現調化の影響等により受注が低調であるとともに、産業用チェーンにおいても製鉄・セメント関連の設備投資が依然低調であった結果、売上高は234億95百万円となりました。



● ご参考 ●

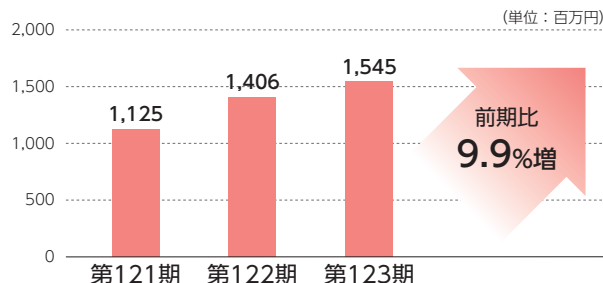
仕向地別セグメント
（顧客の属する国または地域を基準としたもの）

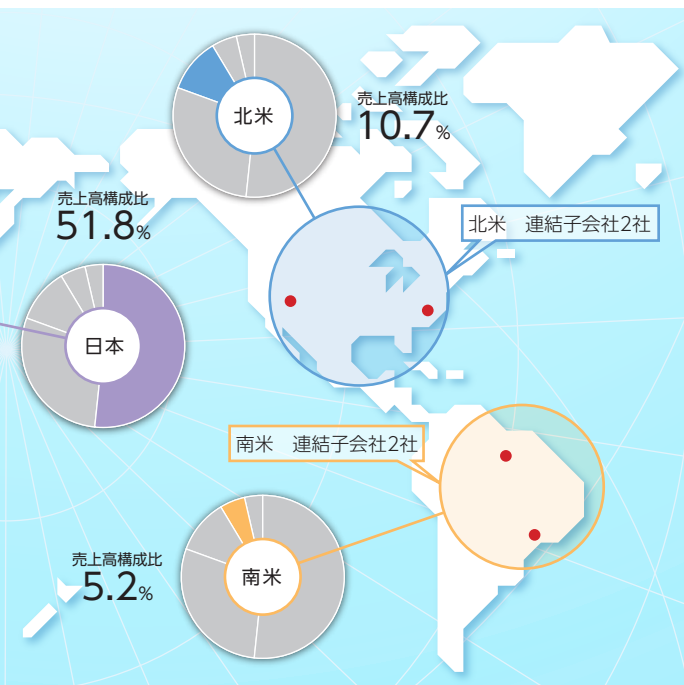
	売上高 (百万円)	構成比 (%)	前期比
日 本	20,844	46.0	4.2%減
ア ジ ア	14,223	31.4	4.3%増
北 米	4,675	10.3	52.3%増
南 米	2,775	6.1	20.6%減
欧 州	2,473	5.5	8.5%増
そ の 他	333	0.7	1.6%増



● 欧 州

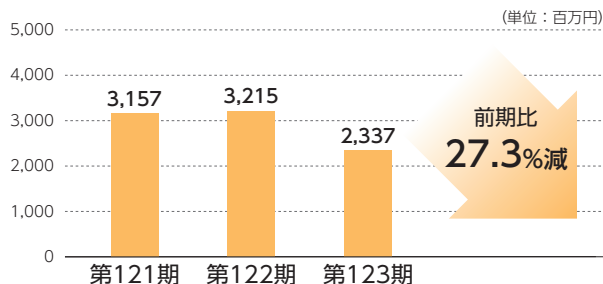
二輪車用チェーンにおいて、完成車メーカーの生産増加により受注が順調に推移するとともに、補修市場向けにおいて欧州全域での拡販活動により受注が増加した結果、売上高は15億45百万円となりました。





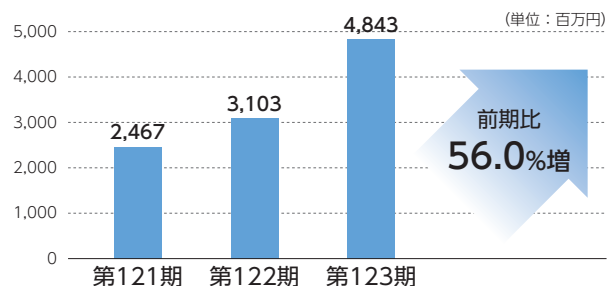
● 南 米

二輪車用チェーンにおいて、市場の景気低迷により、完成車メーカーの受注が低調に推移したことに加え、レアル安の影響もあった結果、売上高は23億37百万円となりました。



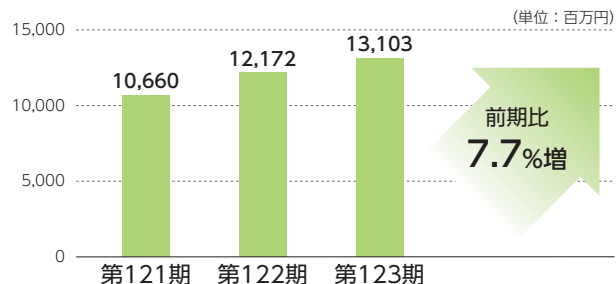
● 北 米

四輪車用チェーンにおいて、完成車メーカーの現調化により受注が増加したことに加え、為替の円安の影響もあった結果、売上高は48億43百万円となりました。



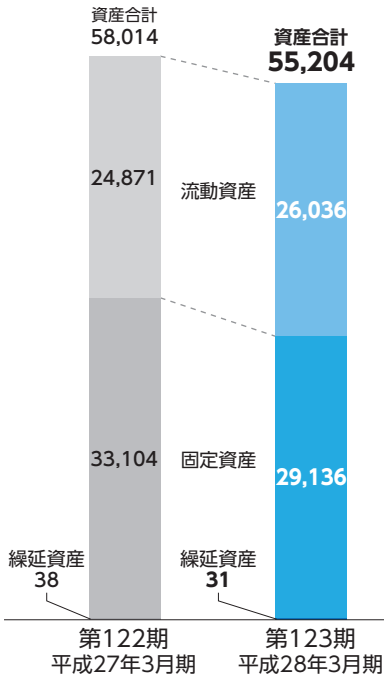
● アジア

二輪車用チェーンにおいて、アセアン補修市場向けの受注が好調に推移するとともに、インドにて着実に受注が増加したこと、更にコンベヤ関連では中国において環境関連設備の受注が好調であった結果、売上高は131億3百万円となりました。



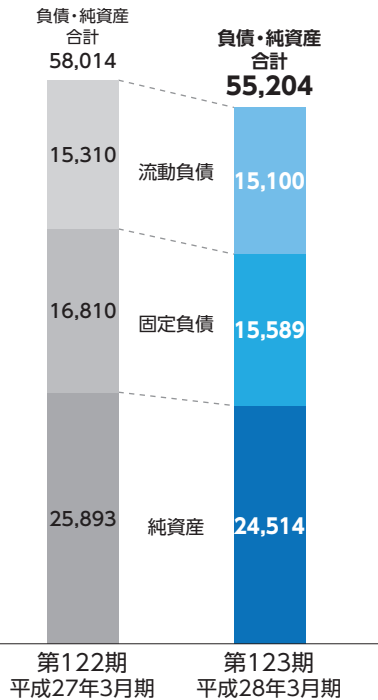
資産の部

単位：百万円



負債及び純資産の部

単位：百万円

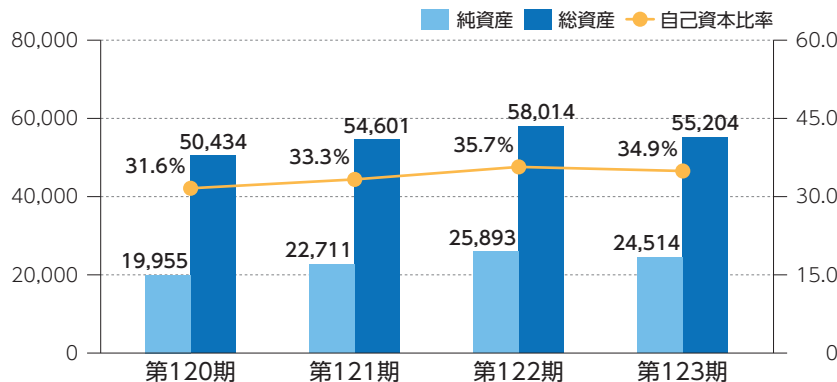


ポイント解説

総資産は、現金及び預金が増加したものの、受取手形及び売掛金、建物及び構築物、リース資産、投資有価証券が減少したことなどにより、前期末と比べ28億10百万円減少しました。負債につきましては、繰延税金負債が減少したことなどにより、前期末と比べ14億30百万円減少しました。純資産は、その他有価証券評価差額金が減少したことなどにより、前期末と比べ13億79百万円減少しました。

純資産・総資産・自己資本比率

単位：百万円

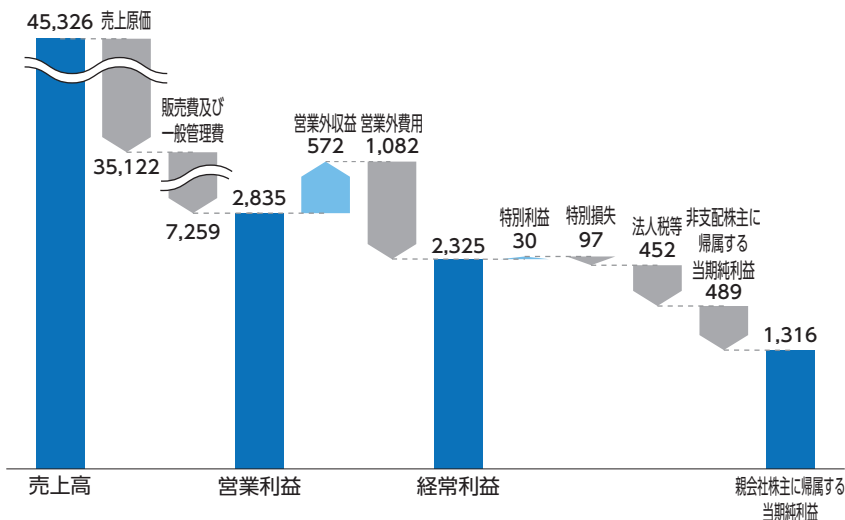


ポイント解説

自己資本比率は、利益剰余金が増加したものの、その他有価証券評価差額金、為替換算調整勘定が減少したことなどにより、前期末と比べ0.8ポイント減少の34.9%となりました。

● 損益の状況 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

単位：百万円



● ポイント解説

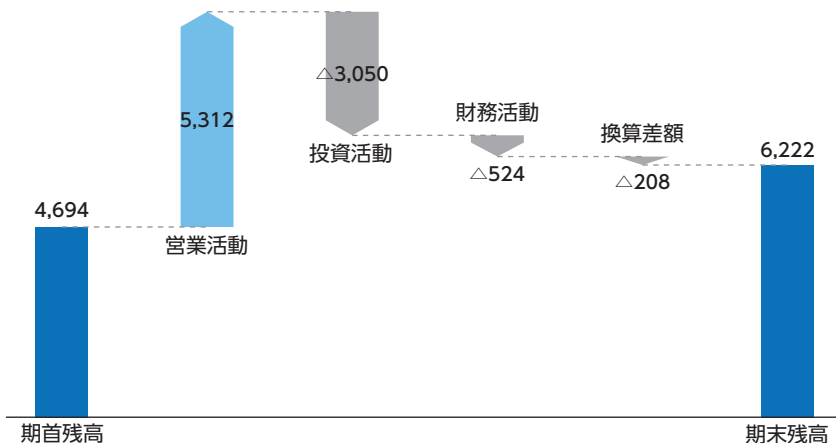
売上面では、国内における自動車メーカーの海外生産移管と南米における景気低迷の影響を受けたものの、アジア、北米、欧州においては、成長市場・成長分野の積極的な取り組みにより受注が好調に推移した結果、前期を上回りました。利益面では、売上増加による影響と為替相場の円安基調や原材料価格の低下の影響等により前期を上回りました。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
第123期 平成28年3月期	45,326	2,835	2,325	1,316
第122期 平成27年3月期	44,562	2,125	2,577	961

● キャッシュ・フローの状況 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

単位：百万円



● ポイント解説

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益、減価償却費を計上し、仕入債務が増加した結果、53億12百万円の獲得となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出等により、30億50百万円の使用、財務活動によるキャッシュ・フローは、借入の返済による支出、配当金の支払等により、5億24百万円の使用となりました。

2015年 10月 **H.C.R.2015**
第42回 国際福祉機器展に出展

場所：東京ビッグサイト

10万人以上の来場者を誇る国際福祉機器展に、当社の電動アシスト付歩行車を参考出品し、多くの来場者のご意見をいただくことができました。



▲国際福祉機器展

2016年 3月 **第32回 大阪モーターサイクルショー2016に出展**
第43回 東京モーターサイクルショー2016に出展

場所：インテックス大阪/東京ビッグサイト

国内の2大モーターサイクルショーにおいて、当社製品の品質や性能のアピールは勿論のこと、D.I.Dブランドの更なる認知度向上に向けた販促活動を実施しました。また、ユーザー動向調査なども実施しました。



▲モーターサイクルショー

2015年 10月

11月

12月

2016年 1月

2月

3月

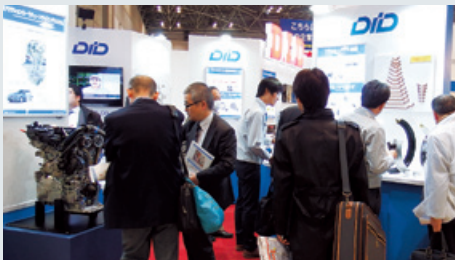
4月

5月

2016年 1月 **Automotive World 2016**
第6回 クルマの軽量化技術展に出展

場所：東京ビッグサイト

当社保有技術の活用を目的として、クルマの軽量化に寄与する加工技術を紹介しました。また、CFRP（炭素繊維熱可塑性複合材料）やマグネシウムなどの軽量素材を用いたリムも参考出品しました。



▲クルマの軽量化技術展

2016年 4月 **第22回 バリアフリー2016**
大阪市福祉機器展に出展

場所：インテックス大阪

国内有数の福祉機器展であるバリアフリー2016にて、当社の電動アシスト付歩行車（参考出品）といす式階段昇降機のPRを行いました。

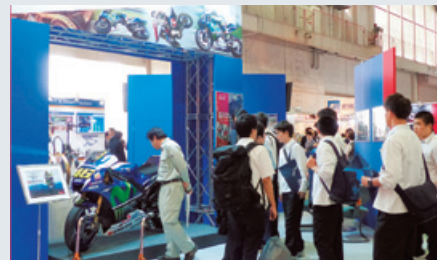


▲バリアフリー2016

2016年 5月 **MEX金沢2016**
第54回 機械工業見本市金沢に出展

場所：石川県産業展示館

当社ドライブチェーンが装着されたモトGPのレース仕様車を展示するなど、来場者の注目を集めました。



▲MEX金沢2016

ローチェーンの構造



動力の伝達や物を動かすために、一般的に使われているのがローチェーンです。伝動効率高く、構造が単純だから壊れにくいという特徴があります。その歴史は古く、かのレオナルド・ダ・ヴィンチがチェーンを構想したと言われています。

外プレート&内プレート



プレートは、チェーンの荷重を支えて動力を伝える重要な部品です。外側にあるのが外プレート、内側にあるのが内プレートと呼ばれています。ブシュやピンを圧入するための穴の精度や引張り強さ、疲れ強さ、耐衝撃性が求められます。

ブシュ



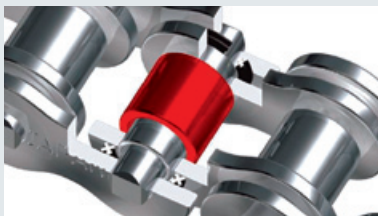
ブシュは、内プレートの穴に圧入される筒状の部品です。ブシュの中をピンが通り、チェーンが屈曲する時にピンを支える軸受けの役割を果たします。各部品を介して複雑な力を受けますので、衝撃疲れ強さや耐摩耗性が求められます。

ピン



ピンは、外プレートの穴に圧入される棒状の部品です。チェーンが屈曲する際にブシュの軸となり絶えず摺動しますので、非常に高い耐摩耗性と耐せん断性が求められます。

ローラ



ローラは、ブシュの外側にあり、スプロケット（歯車）に接触する筒状の部品です。スプロケットの歯を受け止めることでブシュやチェーンを衝撃から守りつつ、チェーン走行中には転がりながら抵抗低減に役立っています。耐圧縮性や耐摩耗性、耐衝撃性などが求められます。

潤滑油／シールリング



チェーンが屈曲する事により部品同士（ピン・ブシュ）が擦れ、摩耗してチェーンの寿命を縮めたりします。潤滑油は摩耗を防いでチェーンの寿命を延ばす役割を果たします。又、ピンとブシュの間に潤滑油を保持する為、外・内プレート間にシールリングを組付けたチェーンもあります（シールチェーンと称します）。

会社の概況 (平成28年3月31日現在)

商号：大同工業株式会社

設立年月日：昭和8年5月25日

資本金：27億2,637万円

従業員：606名(個別) 2,267名(連結)

(注) 上記従業員数は就業人員であり、臨時雇用者(定年後再雇用社員、派遣社員等)は含んでおりません。

事業所 (平成28年3月31日現在)

本社・本社工場：石川県加賀市熊坂町イ197番地

福田工場：石川県加賀市大聖寺下福田町ソ20

動橋工場：石川県加賀市動橋町サ22-1

東京支社：東京都中央区日本橋人形町3-5-4(ユニゾ人形町三丁目ビル)

大阪営業所：大阪市中央区南船場2-12-12(新家ビル)

名古屋営業所：名古屋市中村区名駅南4-9-7

浜松営業所：浜松市北区三方原町1130-2

熊本営業所：熊本県菊池市旭志川辺1074-1

グローバルネットワーク (平成28年6月29日現在)

国内ネットワーク

- 株式会社D.I.D
- 株式会社大同ゼネラルサービス
- 株式会社大同テクノ
- ガイド建設株式会社
- 新星工業株式会社
- 株式会社月星製作所
- 株式会社和泉商行

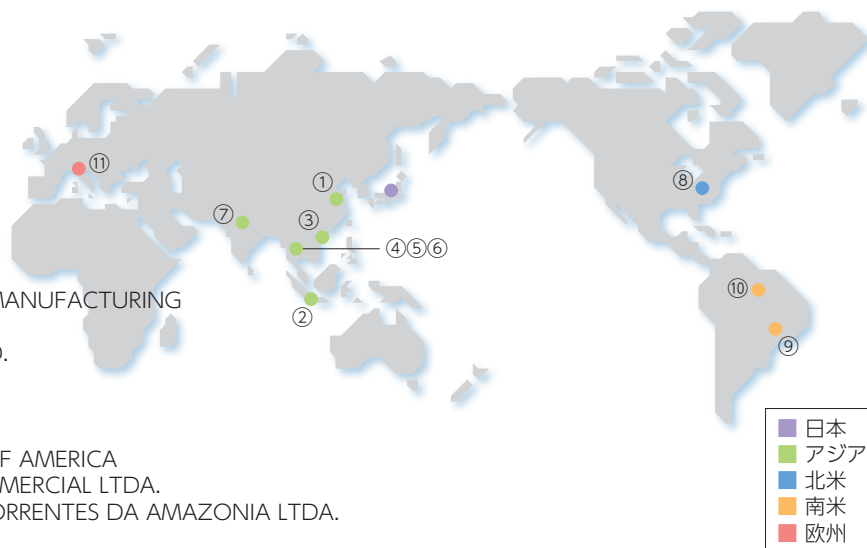
海外ネットワーク

- 中国 ① 大同鏈条(常熟)有限公司
- インドネシア ② P.T. DAIDO INDONESIA MANUFACTURING
- ベトナム ③ D.I.D VIETNAM CO., LTD.
- タイ ④ DAIDO SITTIPOL CO., LTD.
- タイ ⑤ D.I.D ASIA CO., LTD.
- タイ ⑥ INTERFACE グループ (3社)
- インド ⑦ DAIDO INDIA PVT. LTD.
- アメリカ ⑧ DAIDO CORPORATION OF AMERICA
- ブラジル ⑨ DAIDO INDUSTRIAL E COMERCIAL LTDA.
- ブラジル ⑩ DAIDO INDUSTRIA DE CORRENTES DA AMAZONIA LTDA.
- イタリア ⑪ DID EUROPE S.R.L.

会社役員の内訳 (平成28年6月29日現在)

会社における地位	氏名
代表取締役社長	新家康三
代表取締役副社長	新家啓史
専務取締役	立田康行
常務取締役	菊知克幸
取締役	清水俊弘
取締役	澤保
取締役	棚橋健一
常勤監査役	福田治
監査役	笠松靖男
監査役	東森正則
監査役	廣田信也

- (注) 1. 取締役澤保氏、棚橋健一氏は社外取締役であります。
 2. 監査役笠松靖男氏、東森正則氏、廣田信也氏は社外監査役であります。
 3. 当社は、澤保氏、棚橋健一氏、廣田信也氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届出ております。



株式の状況

発行可能株式総数：160,000,000株

発行済株式総数：47,171,006株（自己株式51,753株含む）

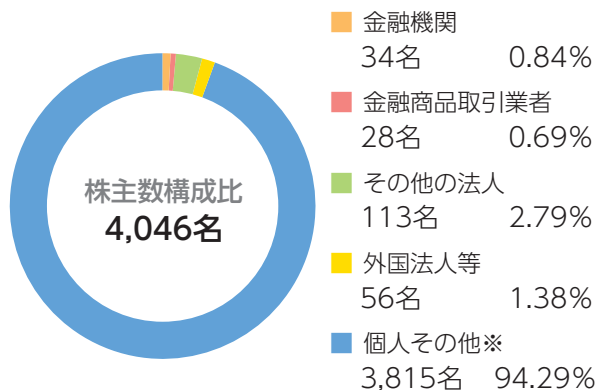
株主数：4,046名

大株主（上位10名）

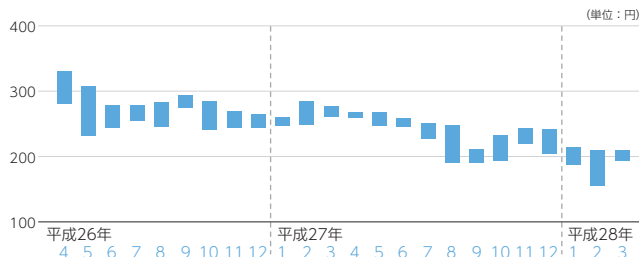
株主氏名及び名称	持株数	持株比率
株式会社 飯田	2,348千株	4.98%
株式会社 北國銀行	2,281	4.84
日本生命保険相互会社	1,377	2.92
加賀商工有限会社	1,313	2.79
大同生命保険株式会社	1,298	2.75
株式会社 みずほ銀行	1,291	2.74
株式会社 三菱東京UFJ銀行	1,291	2.74
新家 萬里子	1,287	2.73
三井住友信託銀行株式会社	1,176	2.50
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,153	2.45

(注) 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

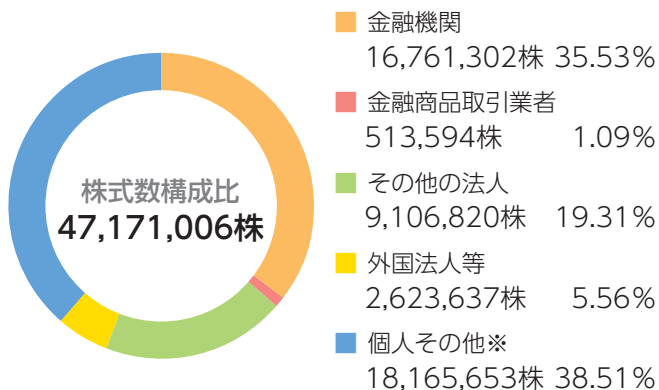
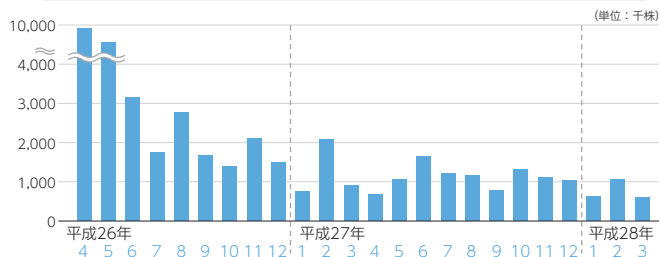
株式分布状況



株価（高値・安値）の推移



出来高の推移



※ 個人その他には、政府・地方公共団体及び自己名義株式を含む。

インド子会社 DAIDO INDIA PVT. LTD. の概要



▲DIN工場

会社設立時期：2010年9月
資本金：700百万ルピー
所在地：インド共和国ラジャスタン州ニムラナ工業団地
敷地面積：20,000㎡
延床面積：6,100㎡
取得認証規格：ISO9001
従業員数：228名(契約社員127名含む)

DAIDO INDIA PVT. LTD. (以下DIN) は、巨大な二輪車市場を有するインドにおけるDIDグループの生産拠点であり、首都デリーから南西約100kmに位置するラジャスタン州のニムラナ工業団地に工場を構えています。日系企業専用という位置付けのニムラナ工業団地には、日系自動車部品メーカーを中心に、現在では45社が入居しています。インドと言えば、独特の文化や歴史に加えて、年中暑いというイメージが強いかもしれませんが、夏季と冬季の気温差が50℃に達するなど、決して快適な環境とは言えません。しかし、現地での衣食住については、3年くらい前から少しずつ充実しはじめ、日本人経営のアパートや日本食レストランが増えるなど、駐在員も比較的快適に生活できるようになりました。

当初DINは、二輪車用チェーンの輸入販売を目的とする営業拠点としてハリヤナ州グルガオン市に設立されましたが、2012年8月に現在のニムラナ工業団地に拠点を移し、生産拠点として二輪車用チェーンの組立を開始しました。更にその2年後には、生産工場を増設したうえで、原材料の現地調達を含めたチェーンの一貫生産を開始するなど、順調に会社の事業規模を拡大させてまいりました。

インドの二輪車生産台数は、年間1,800万台を超えるとも言われており、DINにとっても日系二輪車メーカー様などへの新車用チェーンの拡販は重要である一方、インドでは道路事情が悪いことに起因して、チェーンの取替需要が新車生産台数を大きく上

回っているという特長がある関係上、この市場におけるシェア拡大も非常に重要となります。DINでは、広大な国土を効率的にカバーし、取替需要を取り込むべく、約40社の代理店からなる販売ネットワークを構築して営業活動を展開していることに加え、近年においては、スプロケットをセットにしたキット販売比率が高いことに着目して、スプロケットの内製化を始めるなど、現地の状況に適した施策を積極的に実施しています。

インドでの競合先は、現地のチェーン製造企業であるため、コスト・価格面では厳しい状況は否めませんが、DIDグループ各社と協力・連携し、インド国内向けの安定供給とシェア拡大を目指してまいります。また、将来的な展望として、四輪車向けチェーン事業への参入や南アジアの近隣諸国やアフリカに代表される新市場の開拓など、成長に向けたシナリオを描きつつ、引き続き事業拡大に資する取り組みに尽力してまいります。



▲DIN工場内の様子



▲DIN取扱い商品

株式のご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで		
定時株主総会	毎年6月開催		
単元株式数	1,000株		
基準日	定時株主総会	3月31日	
	剰余金の配当	期末	3月31日
		中間	9月30日
	そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日		
株主名簿管理人 (特別口座の口座管理機関)	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社		
株主名簿管理人 事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部		
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部		
(電話照会先)	☎ 0120-782-031		
(インターネットHP URL)	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html		
公告の方法	当社ホームページに掲載(電子公告) http://www.did-daido.co.jp/jp/index.html		
上場取引所	東京証券取引所市場第一部		
証券コード	6373		

お知らせ (株式事務のご案内)

■ 各種手続き・ご照会について

株主様の各種お手続きは、原則として口座を開設されている証券会社経由で行っていただくこととなります。住所、氏名の後変更、配当金受取方法のご指定、単元未満株式の買取請求などのお手続きに関するお問い合わせ、お手続きに必要な書類のご請求等は、口座を開設されている証券会社までご連絡ください。

■ 特別口座について

株券電子化の実施までに証券保管振替制度をご利用されなかった株式につきましては、株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社に開設された特別口座に記録されております。特別口座で管理されている株式についてのお手続きに関するお問い合わせ、お手続きに必要な書類のご請求等は特別口座管理機関である三井住友信託銀行までご連絡ください。なお、三井住友信託銀行の全国本支店でもお取次いたします。

■ 単元未満株式の買取制度について

当社では証券市場における取引単位を1単元(1,000株)とさせていただいておりますので、単元未満株式(1から999株)の株式は証券市場でのお取引ができません。当社単元未満株式の買い取りをご希望される株主様は、お取引のある証券会社(特別口座が開設されている株主様は、三井住友信託銀行)までお問い合わせください。なお、買取請求に関する手数料は無料となっております。

■ 未受領の配当金について

未受領の配当金につきましては、三井住友信託銀行の全国本支店でお支払いいたします。

ホームページのご案内

<http://www.did-daido.co.jp/>



投資家の皆様に財務情報や最新トピックスをご提供しております。



より詳細な財務情報をご希望の方は、
当社ホームページ [投資家向け情報] をご覧ください。

大同工業 投資家向け情報

検索

<http://www.did-daido.co.jp/jp/ir/index.html>

株主様向け
アンケート

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、
アクセスコード入力後に表示される
アンケートサイトにてご回答ください。
所要時間は5分程度です。

 <http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 6373

いいかぶ

検索



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からもアクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使い
の方は、右のQRコードからもアクセスできます。



●アンケート実施期間は、本書がお手元に
到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から
抽選で薄謝(図書カード500円)
を進呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
(株式会社 a2mediaについての詳細<http://www.a2media.co.jp>)
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30)
[e-株主リサーチ事務局] MAIL:info@e-kabunushi.com

